

# 2026年1月度 炭焼き部会レポート



# < 1月の活動概要 >

## ■ 炭焼き活動

直近3カ月のドラム缶窯での炭焼きは、炭化時間が非常に短いこと、出炭率・良炭率ともに良好で安定していることが特徴です。

今回も同様に進行し、久しぶりに窯内温度が800℃(窯下部)を超えて、精錬中30分以上もブルーフレームが観察されました。

## ■ 外部イベントへの参加

昨年から始まった「音の竹フェス」に参加。

来場者は会場内に設置した竹ピラミッドを竹バチで叩いて楽しんでいました。



## < 1月の活動概要 続き >

### ■ 新規ボランティア会員の獲得に向けて

部会では新たな若手ボランティアの獲得を目指し、一連の炭焼作業（窯詰め・火入れ・窯出し）を体験を通じて知ってもらえるよう、3回通しで体験者を募集、1名の参加者がありました。今後も継続して一括募集を行う予定です。



### ■ 老朽化した施設の改修など

宮谷戸窯の施設も開設から年月が経ち、門柱、竹垣、落ち葉溜めなどの老朽化が目立ってきています。今月は手始めに（目隠し用の）竹垣を造り替えて外観を一新しました。門柱も今年度内には新しくする予定です。

# 1 月度 活動レポート 第 2 週

－ 1 月 7 日（水）9：00～12：00

- ・ 次年度炭焼き用竹材の伐採 # 2  
（3 年以上 7 本）

－ 1 月 9 日（金）9：00～12：00

- ・ 竹材の伐採
  - － オタマジャクシネット用
- ・ 窯詰め準備（1 月分炭材計量）
- ・ 火入れ用炭材の乾燥重量の計測（継続）
- ・ 宮谷戸窯敷地脇の傾斜木の伐採と整理（薪の材料に）

－ 1 月 10 日（土）9：00～12：00

- ・ 宮谷戸窯敷地内の落ち葉掻き
- ・ 窯詰め（MK-1 使用、竹炭）
- ・ 次年度用伐採竹の丸切り（68 cm 長）
  - － 1 月 7 日伐採分、出来高 16 束
- ・ 部会代表者会議報告（12/21 開催分）ほか

－ 1 月 11 日（日）10：30～11：30

「お正月遊びと餅つき」

竹馬・羽根つき・凧・けん玉・コマ・福笑い  
輪投げ・シューティングゲームなど

# 1 月度 活動レポート 第 3 週

- 1 月14日（水）9：00～12：00
  - 「音の竹フェス」準備
    - ピラミッド用竹材の確保と採寸
    - 竹バチ用竹材カット
  - 竹細工（蛙のカスタネット、竹バチ）

- 1 月16日（金）9：00～12：00
  - 煙突設置
  - 軟炭焼き用炭材・器材の準備
  - 宮谷戸窯敷地脇の伐採木のカット
  - 宮谷戸窯の竹垣補修
  - 料理準備

- 1 月17日（土）9：00～12：00
  - 火入れ（MK-1）
  - 軟炭焼き（無煙炭化器使用）
  - 薪割り

## 宮谷戸窯敷地脇の傾斜木の伐採と整理





# 1 月度 活動レポート 第 4 週

- 1 月21日（水）9：00～12：00
  - 煙突撤去・清掃



- 1 月23日（金）9：00～12：00
  - 公園内伐採木の運搬  
（西側の山林階段付近）
    - 薪（販売用・」燃料用の材料に
  - 2月度炭焼き部会活動予定の協議
- 1 月24日（土）9：00～12：00
  - 窯出し（MK-1）
  - たたら製鉄用木炭焼きのための薪割り
  - 次月（2月）の予定表配布・説明

## < ドラム缶窯 MK-1による炭焼き >

- 炭材：長さ68 c m（伐採日 2025年1月26日、竹割り日 5月10日）
- 乾燥日数 竹割後：294日（伐採から約10ヶ月）
- 入炭材量： 63.55 kg 乾燥減量：29.3%
- 出炭量： 17.04 kg（26.8%）
- 良炭量： 8.83 kg（13.9%）
- ※ 窯出し日の天候：雨のため、選別作業は延期
- 採取竹酢液： 4.15 L

（比較／対前月）

2025年12月度／炭材（伐採日 2025年1月16日 3年以上の成長竹）

入炭材量：55.75 kg、乾燥減量：33.45%、木酢液採取量： 7.05 L

出炭量（率）：14.43 kg（25.9%）、良炭量（率）：6.47 kg（11.6%）



窯詰め



窯開け（出炭前）

今回

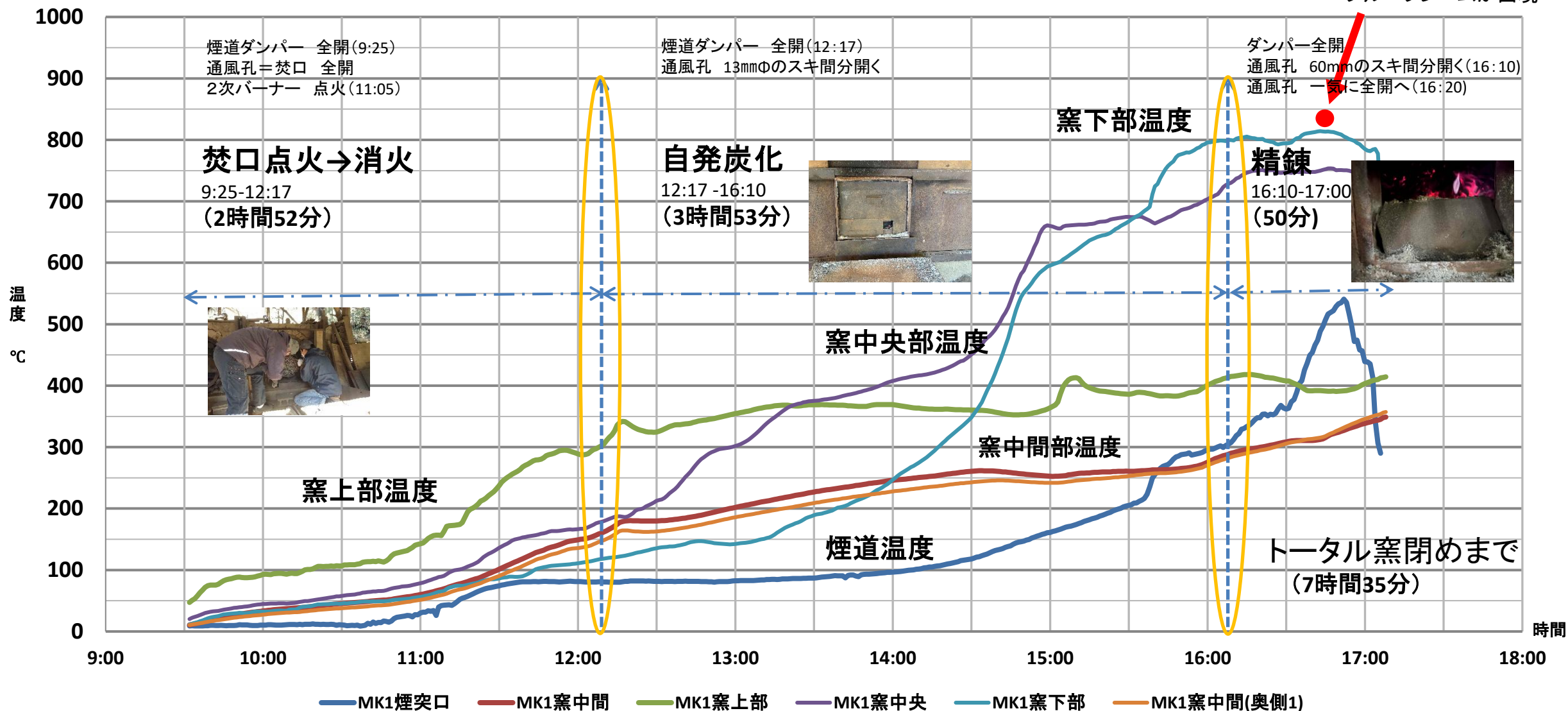
# 2026年1月17日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

第262回(窯改修後20回目) 炭焼き、気温 9.1℃、天気 晴れ

炭材:長さ68 cm 長寸 (伐採日 2025年1月26日 3年以上の成長竹 5月10日竹割り 乾燥日数(割竹)294日(29.33% 重量減)

入炭材量: 63.55 Kg 採取竹酢液:4.15 L以上(回収開始遅れ) 出炭量: 17.04 Kg(26.81%) 良品:8.83 Kg(13.89%)

MK-1 窯下部  
最高温度814℃  
精錬中、30分以上  
ブルーフレームが出現





前回

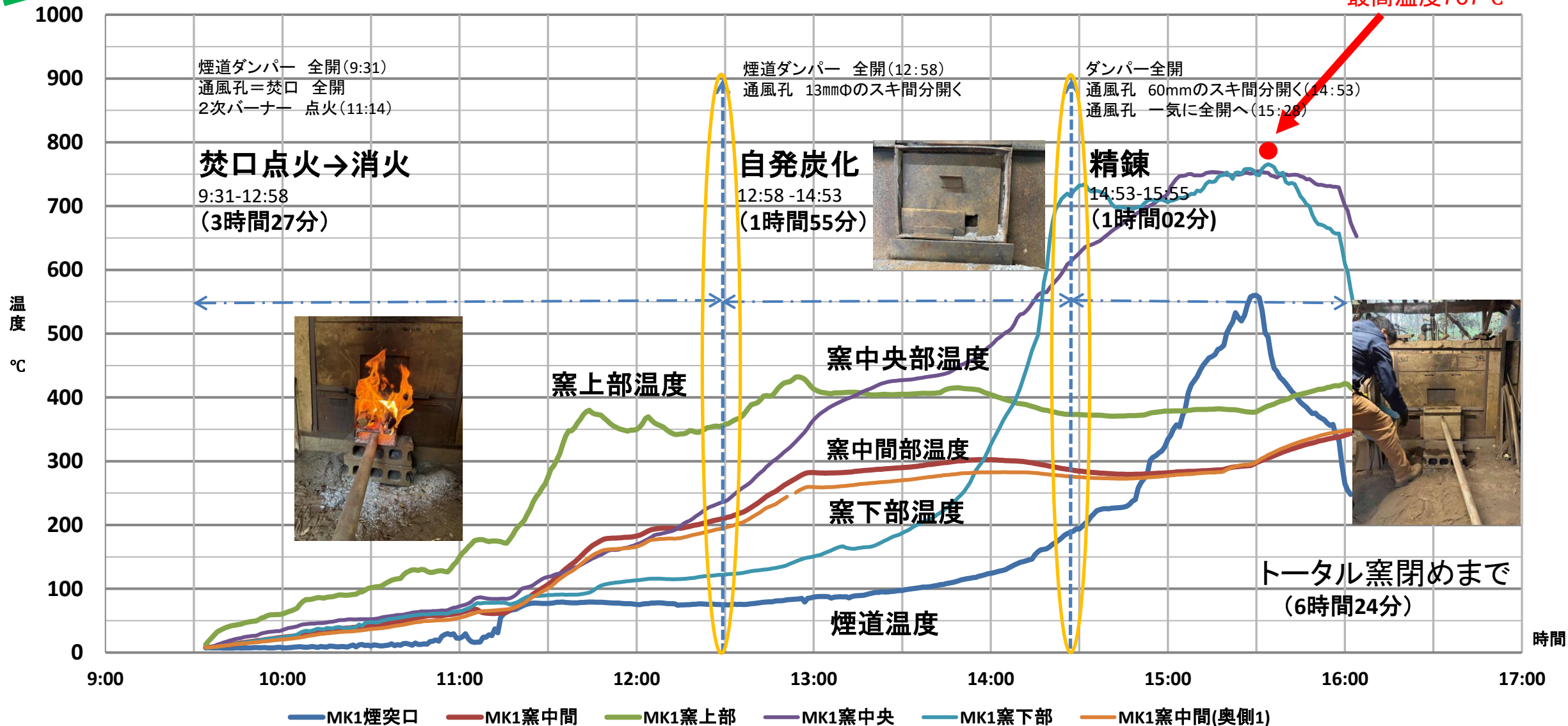
# 2025年12月13日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 竹炭焼き結果

第261回(窯改修後19回目) 炭焼き、気温 5.4℃、天気 曇り 時々晴れ

炭材:長さ68 cm 長寸 (伐採日 2025年1月16日 3年以上の成長竹 乾燥日数(3月15日、割竹)252日、33.45% 重量減)

入炭材量: 55.75 Kg 採取竹酢液7.0 L 出炭量: 14.43 Kg(25.88%) 良品: 6.47 Kg(11.61%)

MK-1 窯下部  
最高温度767℃

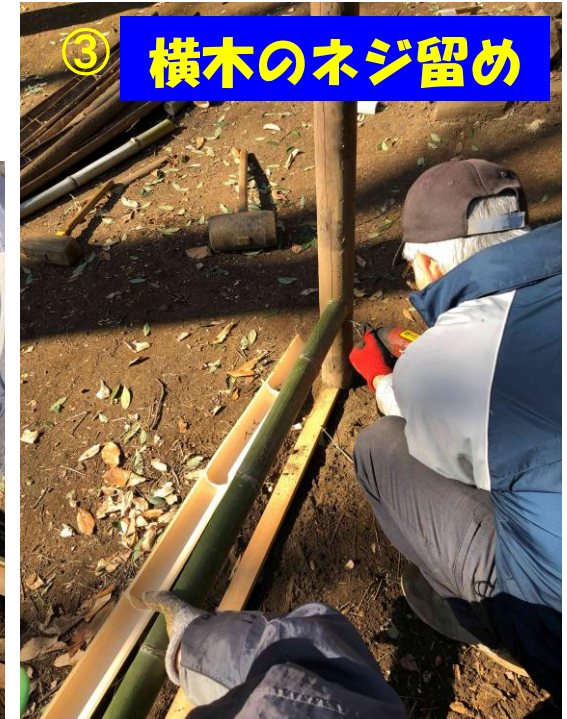


# <宮谷戸窯の竹垣の改修 作業の手順>

- ① 丸竹約150 cm を半分に割って**押さえの横木**(竹:6段分、6本 6対)を作る。
- ② 左右2本の支柱(木の杭)を残して竹垣を**解体**、底板(木材)を交換し、取り付ける。
- ③ 支柱の**裏側に横竹**を下から順に6片(6段)、斜め45° の角度で**ネジ留め**する。
  - ※ 裏側の横木は支柱の内法より少し長めに切り、次いで端から斜め切り。
  - ※ 表側の横木は支柱の外～外の長さ。横木の上下の間隔は約20～30 cm、片面6片(6段)
- ④ 支柱の**表側に下から2～3段**、裏側と対の**横竹**を90° の角度で**ネジ留め**する。
- ⑤ 表裏の横竹の隙間に上から**竹の枯れ枝**を底板に届くまでしっかりと**詰め込む**。
  - ※ 垣根の向こう側が透けて見えない程度に少しずつ詰める。
- ⑥ **残りの横竹3～4段分**を下から順に**ネジ留め**して枯れ枝を両側から挟み込む。
- ⑦ 各段の表裏の横竹を、約40cm間隔で3～4ヶ所、**棕櫚縄(黒)**で**縛って固定**する。
  - ※ 1段おきに互い違いになるよう、4ヶ所、3ヶ所、4ヶ所・・・と男結びする。 作業は次回に！



# <宮谷戸窯の竹垣の改修 写真解説>





# <宮谷戸窯の竹垣の改修 写真解説 続き>



表側のネジ留め

④



隙間に枯れ枝を詰める

⑤



底板まで差込む

⑤



反対側が透けて見えない程度に

裏

⑤



表側のネジ留め

表

⑥



次回は男結びをして完成へ

...



